

WE DESIGN THE FUTURE

ROLAND REPORT
第41期 報告書

2012年4月1日 → 2013年3月31日

ローランド株式会社

証券コード 7944

企業スローガン

創造の喜びを世界にひろめよう
BIGGESTよりBESTになろう
共感を呼ぶ企業にしよう



代表取締役社長
三木 純一

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
2013年3月期の業績概況と今後の方針についてご報告させていただきます。

一人でも多くの方に音楽を楽しんでいただくため、
電子楽器の可能性を追求してまいります。

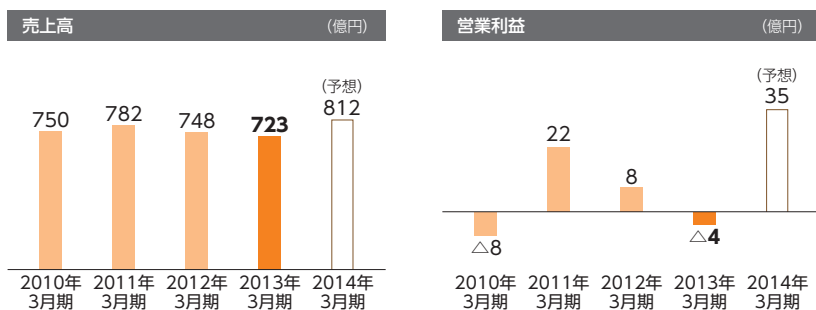
2013年4月1日付けで、代表取締役社長に就任いたしました。就任以来、その職務の重大さを痛感すると同時に、技術力とグローバル体制を活かした新たなローランドを創るべく決意を新たにしています。

心の豊かさが求められる今、音楽の役割はますます大きくなっています。楽器を演奏するときに感じる充実感、音楽仲間との満ち足りたひととき、新たな作品を創り出す喜びなど、音楽の楽しみ方はさまざまです。こうした楽しさを多くの方々に体験していただき、一人一人に合った提案をすることこそ、私たちの使命です。そのために、豊かな感性に溢れたより良い楽器の開発はもちろん、演奏を身近に楽しめる機会や場所の提供にも、力を注いでまいります。

ローランドは電子楽器の分野で、これまで数多くのイノベーションを重ねてきました。ベンチャー企業としてスタートした時のチャレンジ精神を忘れずに、株主様をはじめとするステークホルダーの皆様はもちろん、世界中の多くの音楽ファンから共感していただけるよう、ベストを尽くしてまいります。

今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

連結財務ハイライト



※金額は億円未満を切り捨て表示しています。

2013年3月期業績

- POINT
- 電子楽器事業ではアジアが着実に伸張する一方、日本、北米、欧州の主要市場で販売減
 - コンピュータ周辺機器事業では、日本、北米が好調に推移する一方、欧州やアジアで伸び悩み

売上高	723億円	前期比 △25億円
営業利益	△4億円	前期比 △13億円
経常利益	△7億円	前期比 △8億円
当期純利益	△40億円	前期比 △21億円

(事業別業績はP5「連結決算情報」参照)

当期の業績は、電子楽器事業では、中国を含むアジア諸国が順調に成長する一方、北米、欧州等主要市場の不振により減収となりました。コンピュータ周辺機器事業では、日本や北米でプリンターの新製品が好調に推移しましたが、欧州や競争激化の続く中国等で伸び悩み、前期並みの売上となりました。

連結での最終ネットは、営業利益の減少に加え、電子楽器事業の事業構造改革費用や税費用等により40億円の当期純損失と、4期連続の赤字となりました。

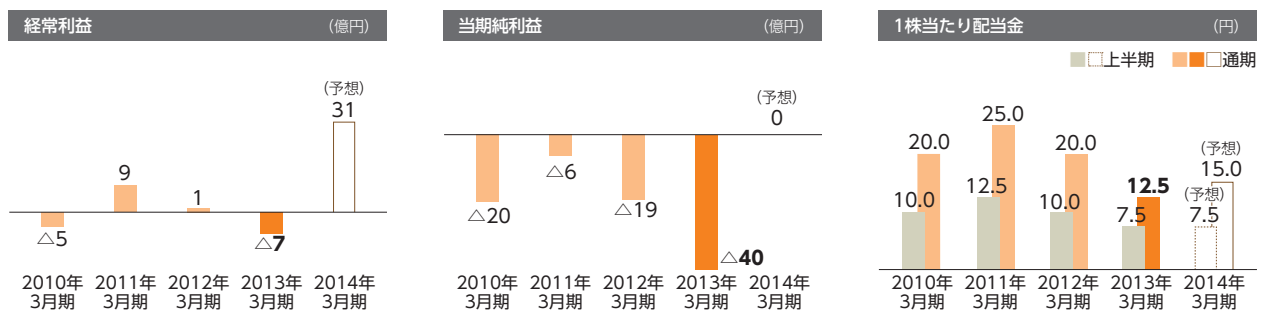
2014年3月期業績予想

- POINT
- 電子楽器事業では、北米や欧州で実質的には販売減となるものの、為替影響により増収
 - 最終ネットは経常利益から税費用や少数株主利益を差し引き、ブレイク・イーブンを予想

	今回予想	対前期比
売上高	812億円	+88億円
電子楽器事業	425億円	+26億円
コンピュータ周辺機器事業	387億円	+62億円
営業利益	35億円	+39億円
電子楽器事業	△5億円	+15億円
コンピュータ周辺機器事業	40億円	+23億円
経常利益	31億円	+38億円
当期純利益	0億円	+40億円

電子楽器事業では、主力の欧米市場においては回復の足取りが重く販売減となる一方、円安の影響により増収となる見通しです。営業利益は、事業構造改革により収益性が改善し、前期に比べ赤字幅は縮小する見込みです。コンピュータ周辺機器事業は、積極的な営業展開に加え、適正在庫水準の維持、生産効率の向上及びコストダウン等を推進し、増収、増益を予想しています。

連結での最終ネットは、経常利益31億円から税費用17億円と少数株主利益14億円を差し引き、ブレイク・イーブンとなる見込みです。



中期経営計画2016/3

経営環境が大きく変化中、これまでの経緯を振り返った上で、ローランドグループの優位性と課題を明確にし、2014年3月期からの3ヵ年を対象として「中期経営計画2016/3」をまとめました。

(単位：億円)

■ 連結 中期経営計画	2013年3月期	2014年3月期	2016年3月期
	実績	← 中期経営計画 →	→
売上高	723	812	920
電子楽器事業	398	425	470
コンピュータ周辺機器事業	324	387	450
営業利益	△4	35	72
営業利益率	△1%	4%	8%
電子楽器事業	△20	△5	25
営業利益率	△5%	△1%	5%
コンピュータ周辺機器事業	16	40	47
営業利益率	5%	10%	10%
当期純利益	△40	0	25
ROE	△9%	0%	6%
為替レート	US\$ 80円 EUR 103円	90円 120円	90円 120円

中期経営計画 [電子楽器事業]

上記の中期経営計画のうち、ここでは電子楽器事業についてご説明いたします。

経営ビジョン

- 創造力を刺激する魅力的なブランドを目指す
- 音と映像をアクティブに楽しむ人口を拡大する
- 電子楽器の技術でライフスタイルを豊かにする

■ 中期経営計画の方針

当計画では、安定した収益基盤を構築するため、以下の強みを活かしながら内部課題に適切に対応してまいります。

ローランドの強み

- グローバルレベルの強いブランド
- 独創的なデジタル技術
- アートウェア(感性)に裏打ちされた楽器としての製品力
- 電子楽器ならではのソリューションによる市場創造力

解決すべき内部課題

- 市場ニーズへの対応強化
- 地域ごとのマーケティング強化
- 高コスト体質(原価、販管費など)の是正
- 開発・生産・販売のサプライチェーン効率化

■ 実行プラン

中期経営計画を遂行するため、次の3つの施策を実行してまいります。

LOW-COST OPERATION 収益力の改善・基盤づくり

- 事業構造改革の推進
- 収益管理体制の強化
- SCM体制の確立

成長につながる収益力の基盤づくりのため、引き続き事業構造改革を推進してまいります。この3年間で海外を中心にさらに約15億円の固定費削減を実施すると共に、グローバル購買を実施し、変動費の削減を図ります。

また、カテゴリー別や製品別の利益管理を強化し、収益確保に向けた体制作りを進めます。

さらに、サプライチェーンマネジメントを推進し、在庫の最適化にも取り組みます。

GLOCALIZATION 地域対応の強化

- ダイレクト・アプローチの強化
- 中国流通網の整備
- 新興国向け製品・コンテンツ強化

インターネット販売の拡大など流通変化が顕著な北米、欧州、日本では、エンドユーザーへのダイレクト・アプローチを強化します。

また、中国では、ショップ・イン・ショップの設置をベースに、流通整備を行い、主要都市を中心にピアノ販売の拡大を図ります。

新興国では、独自の音楽文化に対応する製品や、音色・伴奏スタイルといったコンテンツの対応を進めるなど、積極的な市場展開を行います。

INNOVATION 製品力の強化

- 既存分野の売上回復
- 楽器分野の深耕拡大
- 事業領域の拡大

既存分野では、引き続き付加価値の高い楽器づくりを目指しながら、ローコスト・オペレーションにより魅力ある価格を設定し、競争力を高めてまいります。

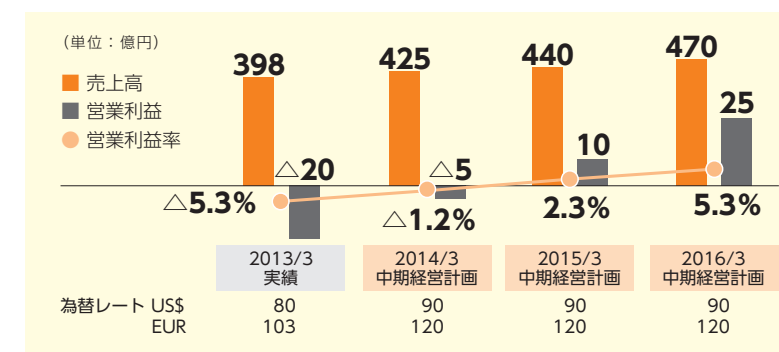
また、新たな楽器分野においても、積極的に新製品の投入を図ってまいります。

さらに楽器以外の分野でも、これまで培われた独自技術の応用を検討し、事業領域の拡大を目指します。

■ 電子楽器事業 中期業績計画

2015年3月期で収益改善効果を発揮すると共に、売上回復を確固たるものとし、2016年3月期には営業利益率5%以上、資本コストを上回るROIC*6%以上を目指します。

*ROIC=税引後営業利益÷投下資本 (=運転資本+固定資産)



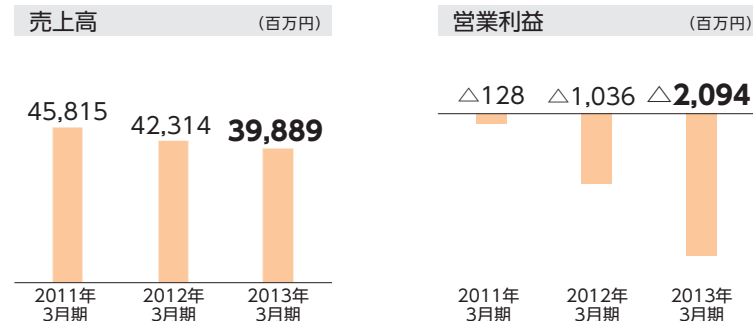
詳細な財務データは当社IRサイトをご覧ください。
<http://www.roland.co.jp/ir/>

ローランド IR

検索

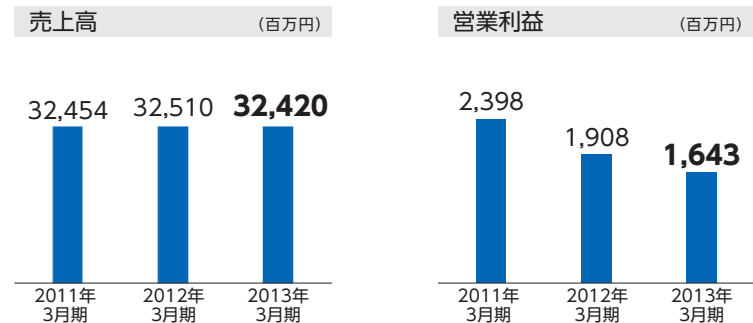
事業別の概況

電子楽器事業



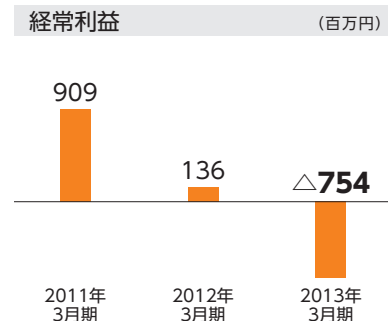
中国を含むアジアは着実に成長しましたが、日本、北米、欧州の主要市場で販売が伸び悩み、減収となりました。営業利益は、減収に加え稼働率低下に伴う原価率の悪化や円高の影響もあり、赤字幅は拡大しました。

コンピュータ周辺機器事業

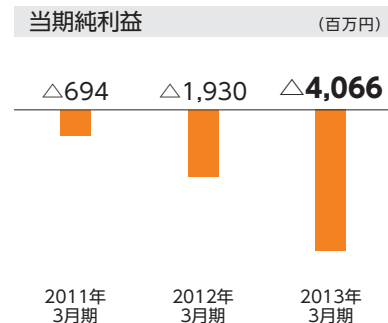


日本や北米ではプリンターの新製品が好調に推移し、前期を上回りましたが、欧州やアジアで伸び悩み、売上高は前期並みとなりました。営業利益は円高や販売費及び一般管理費の増加により減益となりました。

連結財務ハイライト



為替差益等の営業外収益が4億円、売上割引や支払利息等の営業外費用が7億円あり、経常損失は7億円となりました。



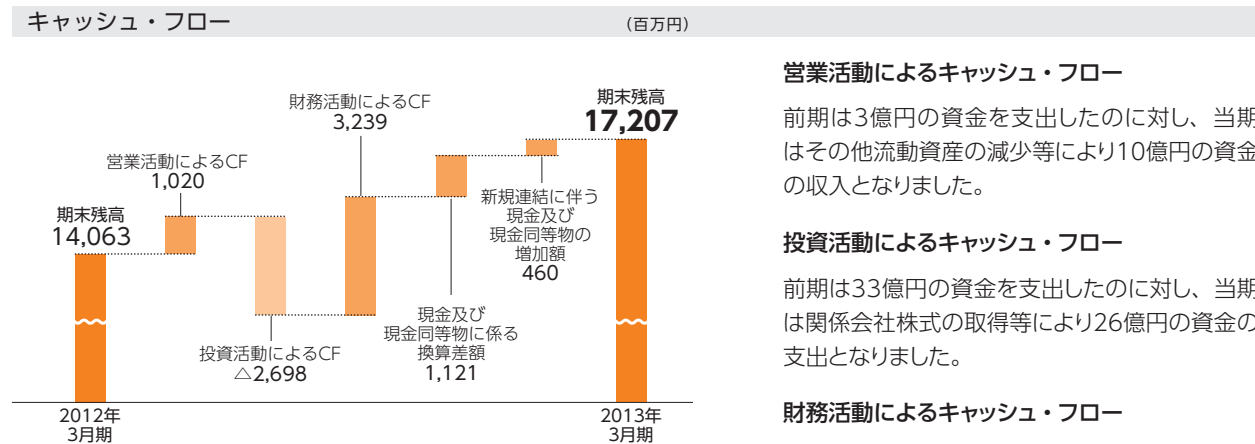
電子楽器事業の事業構造改革費用14億円を含む特別損失19億円に加え、税費用が11億円、少数株主利益が3億円あり、最終利益は40億円の当期純損失となりました。



現金及び預金の増加25億円や海外連結子会社の財務諸表の円換算額が円安により増加し、総資産は36億円増加しました。

電子楽器事業の構造改革費用やコンピュータ周辺機器事業の子会社資金需要などにより、短期借入金が35億円、長期借入金が5億円増加し、負債は62億円増加しました。

当期純損失40億円、剰余金の配当支払4億円などがある一方、為替換算調整勘定が20億円増加し、純資産は25億円減少しました。



営業活動によるキャッシュ・フロー

前期は3億円の資金を支出したのに対し、当期はその他流動資産の減少等により10億円の資金の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

前期は33億円の資金を支出したのに対し、当期は関係会社株式の取得等により26億円の資金の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

前期は8億円の資金を支出したのに対し、当期は短期借入の増加等により32億円の資金の収入となりました。



より多くのお客様にとって魅力ある商品を提供し、さらなる需要喚起を図ります。

Vドラム・ポータブル
TD-4KP-S

折りたたんで持ち運べる電子ドラム

コンパクトに折りたたんで持ち運べる、新しいコンセプトの電子ドラムです。ご自宅では、お好きなときに取り出してセッティング。演奏を楽しんだ後は、机の脇や家具の隙間などわずかなスペースに収納できます。ライブハウスやパーティ会場などいろいろな場所に持ち出し、多彩なドラム音で演奏することが可能です。



ギター・アンプ
CUBE Lite

iPhoneの曲に合わせて演奏&録音

リビングにもぴったりな小さいサイズにもかかわらず、高音質かつ本格的なギター・サウンドで演奏できます。iPhoneを使えば、お気に入りの曲に自分の演奏を重ねて録音することも可能です。

BOSS
コンパクト・エフェクター



通算
100
機種目

テラ・エコー
TE-2



通算100機種を突破しました！

ギターに接続して使用することで、さまざまな音響効果を生み出す「BOSSコンパクト・エフェクター」。1977年の発売以来、最新テクノロジーを投入して独創的な商品を生み出し、通算100機種を数えるに至りました。これからも新たなギター・サウンドを提供し続けます。

ローランドピアノ・デジタル
HPI-50

大型カラー液晶画面で楽しく練習
演奏すると自動採点してくれる電子ピアノ

さまざまな世代に対応する多彩なジャンルの内蔵曲を450曲以上搭載。液晶画面に譜面を表示し、弾きたいときにいつでもお気に入りの曲を演奏できます。また、ゲーム感覚で音感やリズム感を養えるアプリにより、楽しみながら音楽の基礎力を身につけることができます。さらに、自分の演奏が採点され、すぐに確認できるレッスン・プログラムもご用意。繰り返し練習しても飽きない工夫が施されており、ご家族みんなでお楽しみいただけます。



液晶画面



Vミキサー
M-200i

iPadで直感的に操作
ワイヤレス・コントロールも可能な
小型デジタル音響ミキサー

業務用音響ミキサー『M-200i』は、コントローラーとして「iPad」を採用。リモート操作により、会場のさまざまな場所で実際に音を確認しながら、効率的に音量や音質調整を行うことができます。

音源モジュール
INTEGRA-7



ローランドの音源技術の集大成
最高峰のシンセサイザー音源

さまざまな音楽ジャンルに1台で対応できる最高品質の音色を6,000種以上内蔵。スピーディーな音楽制作を実現すると共に、立体的な音場空間を作り出し、その場で自由に操作することも可能です。

ローランド創業者 梯郁太郎が「テクニカル・グラミー・アワード」受賞

創業者 梯郁太郎が、音楽界で最高の栄誉とされるグラミー賞の技術賞「テクニカル・グラミー・アワード」を受賞しました。この賞は、技術面で音楽産業とレコーディング分野へ貢献した企業や個人に贈られるものです。今回、米国のMr. Dave Smith (元シーケンシャル・サーキット社 社長)との連名で受賞。両者がメーカーを問わない電子楽器の世界共通規格「MIDI」を制定し、普及に尽力したことが、その後の音楽産業の発展につながったとして評価されました。個人で受賞するのは、梯が日本人初となります。



Technical GRAMMY® Award トロフィー



梯郁太郎の受賞コメント

1983年「MIDI」規格の発表より30年。非常に短く感じますが、この30年で、電子楽器が世界的に広く使われるようになりました。「MIDI」がお役に立てたのだと思うと、大変感慨深いです。各メーカーが協力し、電子楽器の発展という同じ目的で努力したことが、今回の表彰に結びつきました。「MIDI」規格のシステムのコンセプトを作った当時の弊社技術部長 菊本忠男氏をはじめとするエンジニア、関係者の皆様と共に、この受賞を喜びたいと思います。

MIDIについて

Musical Instrument Digital Interfaceの略。電子楽器の演奏情報を、メーカーを問わず、他の電子楽器やコンピュータなどとデジタル伝送できる世界共通の規格。1983年、世界的な楽器トレードショー「NAMMショー」で初めて披露。ローランド製品とシーケンシャル・サーキット社の製品を「MIDI」でつなぎ、音出し実験を行った。これが電子楽器の新しい幕開けとなる。

お子さまが楽しみながら電子ドラムに親しめるアプリケーション公開

ローランドの電子ドラム「Vドラム」とインターネットを使って、お子さまが楽しく電子ドラムを演奏できるパソコン用無料アプリケーション「V-Drums Friend Jam Kids」を公開しました。

カラフルにデザインされた画面を見ながら、ポップスやロック調にアレンジした『きらきら星』『大きな古時計』などの曲に合わせてドラムをたたくと、演奏を採点。インターネット経由で世界ランキングも表示します。このアプリケーションは日本語のほか、英語、中国語、フランス語、ドイツ語など計13ヶ国語に対応しています。

URL ▶ <http://vdru.ms/kids>

画面を見ながら曲に合わせて楽しく演奏



「V-Drums Friend Jam Kids」の画面



会社の概要 (2013年3月31日現在)

商号	ローランド株式会社 (Roland Corporation)
設立	1972年4月18日
資本金	9,274百万円
主な事業内容	電子楽器、電子機器及びそのソフトウェアの製造販売並びに輸出入
従業員数	3,060人(連結) 887人(単体) ※2013年3月31日付け退職者を含みます。

役員 の 状況 (2013年6月21日現在)

代表取締役社長	三木 純一
取締役	柳瀬 和也
取締役	池上 嘉宏
取締役	湯川 純郎
取締役	富田 高宏
取締役	田村 尚之
社外取締役	佐藤 克昭
社外取締役	西田 不二夫
監査役 (常勤)	中村 健也
社外監査役 (非常勤)	前川 三喜男
社外監査役 (非常勤)	細井 為行

会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

事業所 (2013年3月31日現在)

本社工場	静岡県浜松市北区細江町中川 2036 番地の 1
工場	都田工場、松本工場
研究所	浜松研究所
試験センター	都田試験センター
流通センター	浜松流通センター
国内オフィス	札幌、東京、名古屋、大阪、福岡
海外オフィス	オランダ
ローランド・ミュージック・スクール	札幌/名古屋/大阪/広島/福岡 横浜(ローランド・サテラ)
連結子会社	国内 2 社 海外 30 社

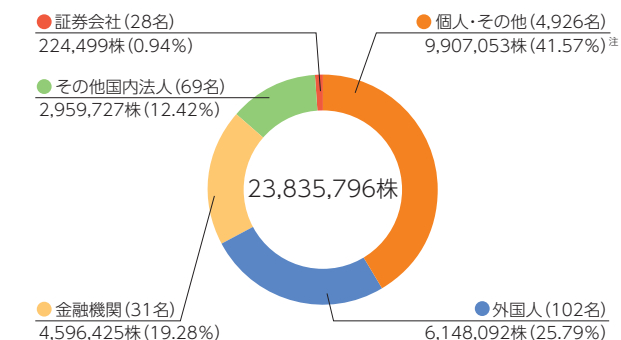
発行株式数及び株主数 (2013年3月31日現在)

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	23,835,796株
自己株式数	50,000株
株主数	5,156名

大株主 (2013年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
公益財団法人ローランド芸術文化振興財団	2,335	9.79
タイヨウ ファンド エルピー	1,789	7.50
梯 郁太郎	1,507	6.32
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,234	5.18
ノーザン トラスト カンパニー(エイブイエフシー)サブアカウント アメリカン クライアント	1,119	4.69
ローランド社員持株会	767	3.21
株式会社りそな銀行	561	2.35
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	486	2.04
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リューエス タックス エグゼンプテド ペンション ファンズ	436	1.83
クレディ・スイス・セキュリティーズ(ヨーロッパ) リミテッド ピービー オムニバス クライアント アカウント	380	1.59

株式の分布状況 (2013年3月31日現在)



(注) 自己株式50,000株 (0.20%)を含んでいます。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 単元株式数 100株
- 基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
(その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。)
- 上場証券取引所 東京・大阪証券取引所市場第一部
- 株主名簿管理人/
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 各種お問い合わせ先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
株式事務に関するご照会 電話0120-232-711 (通話料無料)
[土・日・祝祭日を除く平日 9:00~17:00]
WEBサイト <http://www.tr.mufj.jp/daikou/>
- 郵便物送付先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 公告方法 電子公告とし、以下の当社ホームページに掲載致します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載致します。
<http://www.roland.co.jp/ir/koukoku.html>

ローランド IRサイトのご案内

IR ページ

<http://www.roland.co.jp/ir/> (日本語サイト)

<http://www.roland.com/ir/> (英語サイト)



IRメール配信を行っています。
ぜひ、ご登録ください。

「復興特別所得税」に関するご案内

東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法(平成23年法律第117号)の施行に伴い、平成25年1月1日以降に支払われる上場株式等の配当等に係る所得税に対し、右記の通り追加課税されることになりましたので、ご案内いたします。

平成25年1月1日以降に支払われる上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率

	平成24年12月31日まで	平成25年1月1日から 平成25年12月31日まで	平成26年1月1日から 平成49年12月31日まで	平成50年1月1日から
所得税	7%	7%	15%	(※)15%
復興特別所得税	—	0.147%	0.315%	—
住民税	3%	3%	5%	(※)5%
合計	10%	10.147%	20.315%	20%

上場株式等の配当等に係る所得税に対し、平成25年1月1日から平成49年12月31日まで、復興特別所得税として所得税額×2.1%が追加課税されることとなります。

(※)証券税制における軽減税率の適用終了による税率の変更です。

源泉徴収が行われる場合の税率です。ただし、内国法人の場合は住民税が徴収されません。

本ご案内は、上場株式等の配当等に係る復興特別所得税について、一般的な情報をご提供するために作成されたものであり、本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄りの税務署、税理士等にお問い合わせください。

 Roland

ローランド株式会社

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川2036-1
TEL : 053-523-0230

UD FONT

